

外部講師指導を取り入れた 英語科目パイロットプログラムの 実践報告

坂本美枝（サイバー大学）

半田純子（明治大学）

宍戸真（東京電機大学）

阪井和男（明治大学）

新田目夏実（拓殖大学）

日本英語教育学会 第47回年次研究集会（2017/03/04）

- 背景
- パイロットプログラムへの
準備
- パイロットプログラムの運用
- まとめ

目次

背景

正規英語科目への導入のための現実的な 選択肢の提案

◇フィリピン人外部講師

◇オンライン・マンツーマン指導

大学教員の意見／懸念

坂本他（2016）大学英語教育における発話／会話活動の実態と課題.
日本英語教育学会第46回年次研究集会にて発表.

英語コミュニケーション能力育成のための
提案とその反応

	全体	英語 担当	非英語 担当
Q8. 外部講師のコーディネートに労力がかかる。	3.12	3.33	2.88
Q9. 外部講師の日本人学生への指導力（日本人の学生がわかるように説明できるか）が心配である。	2.18	2.22	2.13
Q10. 外部講師の英語力が心配である。	1.71	1.78	1.63
Q11. 文化の違いが心配である。	1.47	1.78	1.13
Q12. 外部講師が関わる授業の設計がうまくできるか心配である。	2.35	2.00	2.75
Q13. 時差（1時間）によるサポートのトラブルなどが心配である。	1.65	2.00	1.25

導入に際しての懸念点

【カリキュラム内での位置づけを明確に】

- ◇授業設計(目標、**内容**、評価基準／方法)
- ◇授業環境の整備／管理(場所、時間)
- ◇協働体制の築けるサービスの選択



外部講師指導を取り入れた英語科目パイ
ロットプログラムの実践へ

導入のためのヒント

パイロットプログラムへの 準備

◇English Centralの動画視聴

◇Go live!での会話活動

◇リンガポルタ（成美堂）での英語学習



それぞれ30分ほどの活動を組み合わせ
1回の授業を構成

授業の構成

◇20の動画を選択

- ・ レベル (2-5)
- ・ キーワード (国際関係、ボランティア、異文化理解、アジア、ヨーロッパ、**World English**)

準備 : English Central

◇確認と補充

- **Comprehension Questions**
- **Discussion Questions**

準備 : Go live!

◇問題の素材を選択

- ・ 単語／表現（**20**ほど）
- ・ 文法事項（**10**ほど）

◇それぞれ例文を用意して問題を作成
→リンガポルタシステムへ

準備：リンガポルタ

◇ログイン情報覚書：**URL, ID/PW**

◇スケジュール

◇講義の進め方

◇プログラム外の学習記録

◇各回授業の情報

- 単語／表現
- 文法事項
- **Comprehension Questions**
- **Discussion Questions**

準備：学習帳

パイロットプログラムの運用

◇2016/10/5~12/3

◇月・水：18:30~19:30

◇金：17:00~18:00

◇10/5：ガイダンス

◇10/7, 11/30：OPIc

◇10/10~11/28：講義全20回

◇12/3：TOEIC IP

実施スケジュール

◇スケジュールを守れる者

◇TOEICの参考スコア（前年度）を提示
できる者が望ましい



◇1年生：6名

◇2年生：10名（うち1名交代）

* 自宅のPCとインターネット環境について
は不問

被験者募集

◇グループA

- ・ 教室での活動：動画視聴→**Go Live!**
- ・ 自宅での活動：リンガポルタ

◇グループB

- ・ 教室での活動：動画視聴→リンガポルタ
- ・ 自宅での活動：**Go Live!**（各自予約）

* 年次や成績で管理者がグループ分け

* 「自宅にPCがない」という理由で1名はグループを入れ替わる

* プログラム外の活動は自由

グループ別講義の流れ

◇講義内

- ・ 講義冒頭：学習動画の確認
- ・ 講義中盤：次の活動への誘導
- ・ その他：手助けが必要な場合のみコンタクト

◇メールでの奨励

- ・ 原則2回連続欠席の場合は個別奨励

管理者の活動

回数	グループA	グループB
16-20	6	3
11-15	2	3
6-10	0	0
1-5	0	2*

*1名は事前のOPIc受験後に辞退。その代わりに参加した学生も3回出席した後辞退。

出席状況

回数	グループA	グループB
20-	1*	0
16-20	5	1
11-15	2	1
6-10	0	3**
1-5	0	2
0	0	1

*17回出席＋自己予約4回

**1名は、グループ交代の操作により1, 2回少なく集計されている可能性有

Go Live!セッション数

着手率	グループA	グループB
75%以上	2	3
50%以上 75%未満	1	1
25%以上 50%未満	3	1
25%未満	2	3

リンガポルタ 着手率①

A1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0	64
A2	4	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
A3	4	4	4	4	4	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
A4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	0	4	4	4	4	0	0	0	78
A5	4	4	4	0	4	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
A6	4	4	4	4	4	4	4	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	43
A7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	100
A8	4	3	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
B1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0	75
B2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4		98
B3	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
B4	3	2	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
B5	1	2	3	2	0	0	2	1	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	25
B6	4	4	4	3	3	2	1	4	4	2	2	0	0	1	1	1	1	1	1	1	50
B7	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	93
B8	0	0	3	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11

リンガポルタ着手率②

	グループA	グループB
単語／表現、 文法事項、CQ、DQ	5	0
単語／表現、 文法事項	0	3
CQ、DQ	1	0
ほとんど使用しない	1	5
自作のノートを使用	1	0

受講状況観察から：学習帳使用／
note-taking

Q6.動画を用いた学習（English Central）について以下の質問に答えてください。

6-1.この活動をやってよかったと思いますか？

3.21

6-2.この活動でよかったところを挙げてください。

発話の機会が持てた／採点があるので上達した

6-3.この活動で不満なところを挙げてください。

不安定／指定された場所と時間でやらなければならなかった

事後アンケート：English Central

Q7. オンラインシステムを用いた学習（LINGUAPORTA）について、以下の質問に教えてください。

7-1. この活動をやってよかったと思いますか？

2.5

7-2. この活動でよかったところを挙げてください。

単語力がついた

7-3. この活動で不満なところを挙げてください。

問題が多い／時間内に終わらない／やりづらい
（正確に回答しないと次に進めない）

事後アンケート：リンガポルタ

Q8.オンラインでの英会話（Go Live!）について、以下の質問に答えてください。

8-1.この活動をやってよかったと思いますか？

3.31

8-2.この活動でよかったところを挙げてください。

会話の練習ができた／発音の指導も受けられた

8-3.この活動で不満なところを挙げてください。

Skypeが不安定／時間が短く物足りない

事後アンケート：Go Live!

Q9.「動画＋オンライン英会話＋オンライン学習」全体について、以下の質問に教えてください。

9-1.この組み合わせは適切だったと思いますか？

3.07

9-2.「適切だった」と感じた場合、とくにどこが適切だったか挙げてください。

関連のある一連の学習ができた／インプット＋アウトプットができた

9-3.「適切ではなかった」と感じた場合、とくにどこが不適切だったか挙げてください。

ECだけで良いのでは？／オンラインだと覚えられない／ドリルではなく暗記させるほうがいい

事後アンケート：授業設計全体

まとめ

- 成果

- ◇「何を学ばせるか」「どう学ばせるか」を設計

- ◇フィリピン人講師に合わせる形であるが、協働指導体制のヒント

- CQ, DQを学習帳に示すこと等で指導内容の関連性を担保

授業設計と最低限の協働体制

- 課題

◇次の活動への強制力が必要：学習の流れを途切れさせない工夫

動画→会話活動：強制力あり

動画→オンライン学習：強制力なし

学習の流れを維持する強制力

- 本研究にご協力いただいたEnglish Central、成美堂、Global 8のみなさまへ深く御礼を申し上げます。
- この研究は「日本人英語学習者へのオンライン会話活動導入に向けたガイドライン策定」（学術研究助成基金助成金／基盤研究(C)：課題番号15K02735）の一環として行っています。

謝辞

ご清聴ありがとうございました